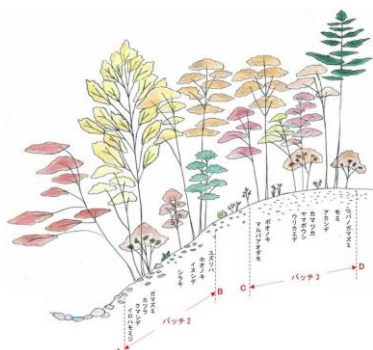


事業概要

J-クレジットの活用と「多様性のある森づくりODAI」

森林吸収系J-クレジット創出の概要

- 町有林でJ-クレジット(旧J-ver)を創出(東海地区初)
- 総創出量7,611tの内6,666 t を無効化 (販売)
- 台風による豪雨災害から多くを学び、林業の衰退からの脱却と新たな森林資源の創出を目的に、町有林でJ-クレジット (旧J-ver) 制度の創出を2010年に開始。
- 町が創出した翌年2011年には民有林で宮川森林組合がJ-ver創出を行い、連携して取組を推進しています。
- リサイクル事業者とカーボンオフセット制度を活用した取組で第2回カーボンオフセット大賞「環境大臣賞」を受賞しました。



非炭素プレミアム価値訴求のポイントや活用事例

- 企業と連携し多様性のある森づくりODAIを行うことが狙い。
- ユネスコエコパークから生まれた、J-クレジットを活用することで、企業の森づくりを後押しします。
- 地域性苗木+自然配植技術 = 多様性のある森づくりODAIとして企業へ提案。
- ユネスコエコパーク(生物圏保存地域Biosphere Reserve)の核心である、大台ヶ原と大杉谷の原始の森を目標に、豊かな生態系を保全し、持続可能な経済活動を進め、自然との共生を目指します。
- 企業のCSR活動や理念・価値観の醸成と社員の環境意識向上やリフレッシュ効果また、企業が大台町に訪れ活動することで、地域活性化や経済効果を促す関係人口の拡大に取り組んでいます。

その他森林保全等に係る取組について

- 地域住民と協力し大台町苗木生産協議会を設立し、地域性苗木を生産しています。
- 広葉樹の森づくりで2011年に宮川森林組合が全国育樹活動コンクールで農林水産大臣賞を受賞しました。
- 広葉樹から生まれたアロマ商品など資源の利活用を実施しています。